

7月3日のウクライナ情報

安齋育郎

① ウクライナとポーランドの国境(2024年6月27日)

女性も出国できず、怒ってる。

家族に徴兵忌避者がいないかの調査がされ始めた。徴兵逃れが家族にいと出られなくなった。

家族責任の次は国民全員の責任？

<https://x.com/i/status/1806312507163955285>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1806312507163955285?s=09>

② ちょっと!!ちょっと!!ウクライナの保証人になると言い出さしたのは岸田だった!!(2024年6月27日)

アメリカ共和党もびっくりしたみたい!!

どうなっているんだ???

<https://x.com/i/status/1806105772314837009>



<https://x.com/w2skwn3/status/1806105772314837009?s=09>

③ブラックロックやバンガードがどのように世界を支配しているのか(2024年6月29日)

日本とウクライナの共通点に土地改正法があります。ゼレンスキーと取り巻きエリートがウクライナという国をブラックロックやバンガードといった資産運用会社に売却する前に農地改革法(2021年6月施行)という仕込みがありました。これは外国資本への農地の売却を可能にするもので、国際通貨基金 IMF が融資と引き換えにウクライナ政府に課した必要条件でした。もちろん IMF は融資が焦げ付くことは百も承知でしたよ。日本も昨年4月立て続けに土地に関する法案が成立しています。

日本経済新聞 電子版 (... 28/4/2023 ...)

相続した土地を国に引き渡せる制度が始まりました。
[nikkei.com/article/DGXZQO...](https://www.nikkei.com/article/DGXZQO...)

管理が困難な田畑や山林などを手放すことができ、「所有者不明土地」を防ぎます。所有権に争いが無いなど、10要件を満たす必要があります。

国に帰属が可能な土地の10要件
建物が無い
抵当権や賃借権などが設定されていない
通路や墓地などを含まない
有害物質で汚染されていない
境界が明らかになっている
勾配30度、高さ5メートル以上の崖がない
管理を阻害する草や樹木などが無い
産業廃棄物などが地下にない
隣接地の所有者らと争いが無い
防災措置の必要性や金銭債務の承継など過分の管理コストがかからない

(注) 法務省資料より抜粋

https://x.com/jupiter_russia/status/1806784977599598763?s=09

④イギリスでも真実言ったら全部親露派のレッテル(2024年6月24日)

※安齋注:Nigel Farage(写真左)=ナイジェル・ポール・ファラージは、イギリスの政治家。イギリス独立党党首、欧州議会議員(5期)、リフォームUK(旧:ブレグジット党)代表。イギリスの欧州連合からの脱退と主権回復を目指す欧州懐疑主義運動のパイオニア的存在である。「われわれがウクライナ戦争を引き起こしたのだ」

<https://x.com/i/status/1805023286327435364>



われわれがこの戦争を引き越したのだ

https://x.com/Kumi_japonesa/status/1805023286327435364?s=09

⑤ ウクライナゼレンスキー大統領:膨大な死負傷者を認め、和平案策定へ(2024年6月29日)

<https://x.com/i/status/1806605776502628561>



<https://x.com/ShortShort News/status/1806605776502628561?s=09>

※安齋注:ゼレンスキーは第2回、第3回平和サミットを開催して新たな和平案を出す意向らしい。ロシアが彼を正式のウクライナ国家代表と認めるかどうか。

〈関連情報〉ゼレンスキーは年内に詳細な和平計画を発表すると約束した(2024年6月28日)
彼はエネルギー、食糧安全保障、捕虜交換を優先分野として挙げた。ゼレンスキーによれば、これらの問題はスイスで開催されたフォーラムでも議論されたという。

この計画は世界のほとんどの国から支持されるだろう。これは私たちが取り組んでいる外交的な方法です。しかし、すべてが我々にかかっているわけではない」と付け加えた。

ゼレンスキーは、次のプランの他の詳細については明かさなかった。

<https://x.com/Z58633894/status/1806672987313377680?s=09>

⑥孫崎 享さんコメント(2024年6月29日)

●Q: 孫崎さんにお聞きします。トランプ氏になったら、戦争は少なくなりますか？確かトランプ時代の方が戦争が少なかったような記憶です。今はタガが外れたようにあちこちで戦争(内戦も含めて)をやっています。

○孫崎: バイデン政権は完全に軍産複合体に乗っ取られました。緊張を作り出来たら戦争を続ける。ウクライナで明確です。トランプはアメリカファースト、トランプ個人は海外の安全は米国安全に無関係。だが果たして軍産複合体がこれを許すか。米国内部の戦いが起こる。



https://x.com/magosaki_ukeru

※安齋注: 孫崎さんにも『ウクライナ戦争論』は送ってあります。

⑦プーチンにインタビューした少女(2024年6月29日投稿)

2019年、プーチン大統領にインタビューしたいという全盲の少女レジーナさんの願いが叶えられた。クレムリンでプーチン大統領にインタビューした後、レジーナさんは「どんなお顔かわかるよう、触らせてほしい」と大統領に頼んだ。

<https://x.com/i/status/1806821068008816820>



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1806821068008816820?s=09

⑧米大統領選挙 2024 うっかり本心をばらすバイデン？ トランプ vs バイデン CNN 討論会(2024年6月27日)

※安齋注:バイデン「世界にはウクライナを支持する国が50か国あります。日本や韓国などです」。国連加盟国は193カ国、50カ国は26%、その例示代表が「アメリカにノーと言えない」日本と韓国」。なんだいこりゃ？

<https://youtu.be/v0ZHr-vhZng>



<https://www.youtube.com/watch?v=v0ZHr-vhZng>

⑨ロシア国防省は、6月28日、特別軍事作戦の進捗状況に関する週報を発表した。 (Sputnik, 2024年6月28日)

- ロシア軍の「ユーク(南)」部隊はドネツク人民共和国の集落ラズドロフカを解放した。
- ウクライナ軍は過去1週間に合わせて最大1万3820人の兵士を失った。
- ロシア軍は過去1週間にウクライナの軍産複合体の施設を高精度兵器で17回攻撃したほか、外国人傭兵の滞在地も破壊した。

<https://sputniknews.jp/20240628/62228-18723103.html>

⑩国防総省、バイデン氏がテレビ討論会で嘘をついたことを認める(2024年6月29日)

ジョー・バイデン大統領はドナルド・トランプ氏とのテレビ討論会に挑んだ際、国外で米兵が死亡しなかった初の指導者と称したが、これは事実と反する。国防総省のシン副報道官が三度目の質問でついに認めた。

シン副報道官は大統領の発言に問われると、最初は以下の答弁を行った。

「大統領のコメントと討論自体について詳しく知りたい場合は、ホワイトハウスに問い合わせることをお勧めします……大統領が被害を受けた家族に多大な同情と哀悼の意を表しているのを私は目にしてきました」

続けて、バイデン氏のコメントは不正確ではないかとの質問にを受けると、副報道官は再び直接の回答を避けて次のように発言した。

「みなさんやほかの方々も軍人らの死亡については報じていたと思います……そしてみなさんはまた、大統領がそうした家族(遺族)に深い哀悼の意を表しているのを見てください」

同じ内容について3度目の質問を受けると、副報道官はこう答えた。

「皆さん(メディア代表者)が報じたように、もちろん、この政権中に軍人は死亡しました」

これまでの報道によると、アフガニスタンから米軍が撤退した際や中東の米軍基地に攻撃が行われた際、そのいずれのケースでも米兵は死亡している。



https://sputniknews.jp/20240629/18725428.html?rcmd_alg=collaboration2